

第3回審議会の振り返り及び 第5回まちづくり市民会議概要報告について

第3回審議会（令和6年8月5日開催）の振り返り

市民会議から現在までの経過

R5.11月

市民会議①

まちづくり市民会議（第1回）

小城市のこれからの将来像を探る

「未来の小城市がまわりからとてもうらやましがられているとしたら、どのような“まち”や“くらし”になっているでしょうか」




R5.12月

市民会議②

まちづくり市民会議（第2回）

小城市のいいところを褒めよう！課題を徹底的に出し合おう！

「現在の小城市の「よかとこ」「よーなかとこ」は何ですか」





R6.2月

市民会議③

まちづくり市民会議（第3回）

小城市の課題を深掘りする

「小城市の〇〇の「よかとこ」「よーなかとこ」は何ですか」

「小城市の〇〇の「よかとこ」「よーなかとこ」をどうしていきたいですか」



あなたが一番関心のあるテーマをこれからより深くするためには、どこかどんなふうに「よーなかとこ」なのかが「よかとこ」なのを必死に書き出してみよう

小城市の〇〇の「よーなかとこ」
□…社会人 □…中高大学生
小城市の〇〇の「よかとこ」
□…社会人 □…中高大学生

小城市の〇〇の「よかとこ」
□…社会人 □…中高大学生
小城市の〇〇の「よーなかとこ」
□…社会人 □…中高大学生

こうしたい
こうしたい

ワークシートはこちらから→



R6.3月

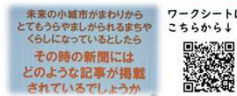
市民会議④

まちづくり市民会議（第4回）

小城市の「未来の新聞をつくろう」

未来の小城市がまわりからとてもうらやましがられるまちやくらしになっているとしたら、その時の新聞にはどのような記事が掲載されているでしょうか

ワークシートはこちらから↓


R6.6月

審議会



R6.8月

審議会



目指すまちの姿（将来像）の検討過程

第2次総合計画目指す将来像
「誇郷幸輝」 ～みんなの笑顔が輝き
幸せを感じる ふるさと小城市～

まちづくり
市民会議での意見

市民アンケート
R5.4月実施
将来像キーワード

人口推計
各種統計データ

人と繋がることで幸福度が増す 地元愛
人と人との繋がりがある 全世代が元気
人が集まるまちは魅力的 小城のことが好きと自慢できる
小城に対しみんなが自信を持って誇りを持つことができる みんなが元気 共に創る
人と人、人と企業、すべては繋がることから始まる 子どもから大人まで活力あるまち
市民ひとりひとりにとって誇れる市⇒自発的な行動に繋がる 資源も含めみんなが主役
市に愛着を持つと熱心な活動に繋がる
住みやすい、戻ってきやすいまち 幸福満足度が高いと自然と住むまちに誇りを持てる
人と人が交わることで、歴史・文化・環境が繋がり継承される 応援してもらえるまち

継続性

第3次目指すまちのすがた（案）

- ① 自信を持って小城のことを好きと言える人が多いまち
- ② 地域内外の人と人が繋がり、交わることで、人が集まる好循環のまち
- ③ みんなの笑顔が溢れ、活力があり、主役で活躍できるまち
- ④ 若者の活力を生かし、若者から高齢者まで全世代が元気で暮らせるまち
- ⑤ 豊かな自然環境を大切にし、快適で幸せに暮らせる住みやすいまち

目指すまちの姿（将来像）の考え方相関図

第3次目指すまちの姿（案）	現状把握（人口・統計データ）	市民アンケート	市民会議
① 自信を持って小城のことを好きと言える人が多いまち	・小城市は昼夜間人口比率が県内で一番低い ・佐賀市への通勤通学者が多い。 ⇒生活圏が佐賀市の人が多く、小城市内で過ごす時間が少ない。	・愛着度は過去の結果と比べ高くはなっているが、愛着を感じていない割合が13%いる。	・自分が住むまちのことを「好き」と言える人が多いまちは魅力的。 ・一人ひとりにとって誇れる市であれば、自発的な行動や熱心な行動に繋がる。
② 地域内外の人と人が繋がり、交わることで、人が集まる好循環のまち	・人口減少が続く。 ⇒人口減少社会において、関係人口、交流人口の力も必要。 ・佐賀市への通勤通学者が8,789人いるが、逆に佐賀市からの通勤通学者が3,486人いる。	・特に力を入れることとして、「若者の定住促進のための施策」が多い。	・小城市のよさは人とのつながり。 ・人とのつながりにより地域内外の交流が生まれる。 ・小城の歴史・文化等が過去から現在に繋がって今の小城市がある。
③ みんなの笑顔が溢れ、活力があり、主役で活躍できるまち	・人口減少が続く。 ⇒人口減少社会において、まちの活力を維持し、上げていくことが重要。 ・産業雇用の分野が弱い。	・愛着度が年齢別、居住地区別によって少し偏りがある。 ・将来像キーワードの自由記述「みんなでつくる」「共に創る」	・未来新聞タイトルから「小城市はみんなが主役のまちに」 ・小城市の自然・歴史・文化等の資源も含めみんなが主役という想い。

目指すまちの姿（将来像）の考え方相関図

第3次目指すまちの姿（案）	現状把握（人口・統計データ）	市民アンケート	市民会議
④ 若者の活力を生かし、若者から高齢者まで全世代が元気で暮らせるまち	・ 少子高齢化 ⇒若者を呼び込み、また、高齢者も元気に暮らせるまちが求められる。 ・ 商店数、製造品出荷額（10市比較で小城市は少ない。） ⇒小城市は産業の分野が弱いため、産業・雇用の創出が必要。	・ 特に力を入れることとして、「若者の定住促進のための施策」が多い。 ・ 次いで「高齢者福祉の充実」が多い。 ・ 将来像のキーワードとして3番目に「健康」が多い。 ・ 将来像キーワードの自由記述欄「みんなが元気」「どの世代も住みたくなる」「若者の定住」	・ 未来新聞タイトルから「若者がかがやくまち」 ・ 若者主体でまちについて考えていくことで、若者のニーズに沿ったまちづくりができる。 ・ 市民会議には、高校生、大学生の参加が多く、若い世代のまちづくりに対する前向きな意見が多かった。
⑤ 豊かな自然環境を大切にし、快適で幸せに暮らせる住みやすいまち	・ 小城市は昼夜間人口比率が県内で一番低い。 ・ 佐賀市への通勤通学者が多い。 ⇒住む環境として選ばれている。	・ 将来像のキーワードとして「自然」「快適」が多い。 ・ 特に力を入れることとして、「空き家対策」が3番目に多い。 ・ 将来像キーワードの自由記述欄「美しいまち」「どの世代も住みたくなる」	・ 小城市のいいところとして「自然」のキーワードが多く出た。 ・ 小城市の住みやすさとして、「人」「治安の良さ」等が多く挙げられた。

将来像と政策体系イメージ

目指すまちのすがた（将来像）

① 「自信をもって小城のことを好きと言える人が多いまち小城市」

② 「人と人がつながり、交流し、人が集まる好循環のまち小城市」

③ 「こどもから大人まで全世代が主役で活躍できるまち小城市」

まちへの自発的な行動が生まれる

小城のことを好きになる・好きな人が増える

住生活・自然環境

子育て・教育

資源・産業・交流

安全・安心

持続可能な行政経営とまちづくり

福祉・健康

将来像と政策体系イメージ

目指すまちのすがた（将来像）

①「

一人ひとりがつながり支えあい
笑顔で活躍できる 快適なまち 小城市

まちへの自発的な行動が生まれる

小城のことを好きになる・好きな人が増える

住生活・自然環境

子育て・教育

資源・産業・交流

安全・安心

持続可能な行政経営とまちづくり

福祉・健康

第5回市民会議（令和7年1月19日開催）の概要



市民参画アドバイザー
加留部 貴行さん

市民等参加者 33人
（うち高校生6人、大学生1人）

「一人ひとりがつながり支えあい 笑顔で活躍できる快適なまち」

これまで築かれてきた歴史・文化、そして自然、あらゆるものが過去から現在へ繋がり、継承され、今の小城市があります。

そこに暮らす人と人との繋がりがあることが小城市のよいところであり、そのよさを活かし、お互いに支えあうことで一人ひとりが笑顔で快適に暮らせるまちを目指します。また、こどもから大人まで、みんながまちのことを考え、自発的に行動し、活躍できるまちを目指します。

そして、地域外の人と繋がっていくことで、交流や新たな人の流れが生まれ、新たな価値を創造し、未来の小城市へと繋げていきます。

このような想いを込めて、目指すまちの姿（将来像）を設定しました。

目指すまちの姿（将来像）を実現するための
キーワード、合言葉、キャッチフレーズ

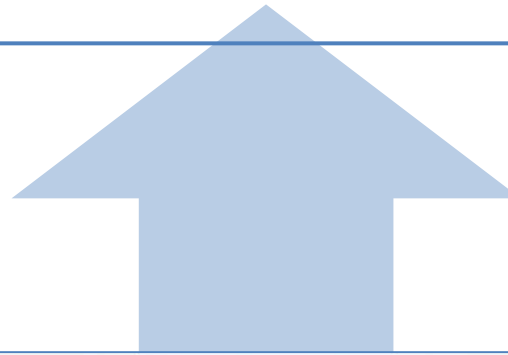
「

」

目指すまちの姿（将来像）を実現するための
キーワード、合言葉、キャッチフレーズ

「

」



小城市の
「将来像(まちの姿)」を表す
キャッチフレーズを
考えてみてください



市民会議で出たキャッチフレーズの一覧

	将来像のキャッチフレーズ	考え方
1	このまちが私自身です ～主役は私です～	現在へつながり、継承され、今の小城市がある ⇒ バトン、人生 こどもから大人まで自発的に活躍できる ⇒ 歩きつづける走りつづける 地域外との交流、人の流れ ⇒ サークル
2	「私が小城市です。」 ～あなたが小城市をかたらんね～	小城市についてどれだけ語れるかという誇りや愛着を示すイメージ 自分が主人公になって、名刺を差し出すイメージ 小城市の表面的な情報ではなく、自分が体験した小城市での出来事をどれだけ語れるか
3	だれもが主役 安心できるまち	市民一人ひとりが主役になれる 安心（ほっとする・できる）まち
4	ひとりひとりの笑顔と共生するまち	誰もが共に生きる（共生）、誰一人取り残されないまち 個人一人ひとりの尊厳を大切に、自分らしく生きれる、誰もが主人公になりうるまち
5	つなげる 広がる 未来へ 私が笑顔の「小城市」	世代を超えて「つながる」ことで、協働の和が「広がる」、それを「未来」へバトンとしてつなげていく。 「私」が主人公で「私が小城市」
6	「個（わたし）」と「個（あなた）」がほどよく繋が り、支え合うまち おぎ	「個（わたし）」と「個（あなた）」がほどよく繋がれ、「支えあう」ことができるまち
7	つながってわたしたちで創ります小城市	人とのつながり、交流、協働の視点から 一緒に、共に、創るという考え方
8	私、真ん中でつなぎます	私（小城市）が主人公 佐賀の真ん中という地理を活かして、市民同士、そして周辺地域との「つながり」を活かしていく

市民会議で出たキャッチフレーズの一覧



	将来像のキャッチフレーズ	考え方
9	やってみよう!の輝く基地 わたしたちの小城市	わたしたちのまちという意識をもって「やってみよう!」を合言葉に住んでいる人が輝ける
10	通り道⇒(から)目的地へ ～みんなで創る秘密基地 小城市～	通り道ではない 生まれてから死ぬまで(生涯)この地で活躍できる 市外から小城市を目指してくれる という思いを込めて
11	安心・安全+癒し=小城市	幸せに生きれる(Well-being)には、生きやすさ、心の豊かさが大事。 安心して安全に生きれる。ストレス社会⇒癒し(リラックス) が必要。
12	ただ、好き。小城。	理由はない、好きなものは好き。「自慢できる」とは違う、ただそれぞれが小城が「好き」だと思える。 ホッとする、受け入れてくれる、安心、温かい、つながる、ひろがる、ふくらむ…⇒好きが溢れる状態
13	#おぎ だいすき ～笑顔でみんなが住みやすい～	市民、若者などにも馴染みやすいハッシュタグ⇒イベントなど、SNSで使ってもらい市の情報発信でも活用できる⇒ブランド価値づくり キーワードの考え方…①「楽しく(笑顔で)」過ごせる ②充実した生活(住みやすさ・やすらぎ) が大事。「楽しい」は個々の感想を便り(頼り)にする=情報発信(SNS)を活用する。
14	願いが届き、集まり、叶う場所	願いが届き、集まり、叶う環境であることで、「住みたい」「住み続けたい」につながる
15	かたり合える 小城市へ	協働の観点から、「語る」と「かたる(佐賀弁で参加する)」をかけて、「かたり合える小城市へ」
16	フリーふらっと ふらーとかたりあう 私とあなたのまち	また「ふらっと」行きたいと思えるまち(地元じゃない人も) 「ふと」した瞬間にいいなを感じれるまち(居心地よい居場所づくりを自分たちで) 「ふらっと」に話せるまち(色々な世代と話せる・一つの空間をみんなで共有できる)
17	好繋輪協	繋がる輪 好→繋→輪→協 「好」きが「繋」がり、「協」働の「輪」が生まれていく

市民会議で出たキャッチフレーズの一覧



	将来像のキャッチフレーズ	考え方
18	しあわせにするまち	小城に関わる全ての人の希望・願望を現実に（働きたい、チャレンジしたい、集まりたい、住みたい、遊びたい、帰ってきたい…） 過去・現在・未来へのバトン（こどもから高齢者まで） 心（安心、思いやり）があるまちに し：就職したい あ：集まりたい魅力 わ：輪がある せ：世代を超えて に：にっこり（笑顔） す：住みたい る：ルール、役割がある
19	「住労快適 市民協働」	住む、仕事する、学ぶ、遊ぶ 快適な環境をつくる 計画は行政、市民、事業所が一緒になって（協働で）進める
20	活誇（かっこ）いいまち	活＝活力がある 誇＝誇れる まちを目指して
21	発信！	特産品や歴史、文化などの今あるいいところが発信できていないのがもったいない。魅力のいっぱいあるところ、「あるもの」をアピールしていく。
22	好きとおもえるまち 小城で自分らしい暮らし	
23	皆が繋がり、未来を笑顔で話し合えるまち おぎ	「和」「輪」「支」
24	佐賀の中心、発信の中心 小城市	ずっと居たいと思える
25	老若男女 幅広い年代に快適で安心できる環境を	
26	ふらーとかたりあう 私とあなたのまち	
27	つながりを大切にみんなでつながる！ 一人ひとりが輝くまち	通り道ではない 生まれてから死ぬまで（生涯）この地で活躍できる
28	住みたいまち おぎし	誰も（こどもからお年寄りまで）が安心・安全なまち、隣人愛